



Contents

- ◇ 会長室から、こんど～です
- ◇ 経営まめ知識：『捨てる経営』について
- ◇ いまさら聞けない相続税の仕組みシリーズ

2

2016 Vol.147

たいせい通信のメール配信をいたします。

ご希望される方は、下記のメールアドレスに、件名を【たいせい通信メール配信希望】とし、お名前、会社名、電話番号を明記の上、送信ください。

info@taiseikeiei.co.jp



大成経営コンサルティンググループは、財務会計総合コンサルタント業として、
企業経営に関するあらゆるご相談にワンストップで対応しております。

- ◆(株)大成経営開発・・・財務会計総合コンサルティング <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)大成財産コンサルタンツ・・・相続相談・終活相談・資金調達運用
会社売買・生命保険損害保険 <http://www.fzc-souzoku.com>
(九州相続センター) 不動産・営業支援代理店業
- ◆(株)アップワード エスト保険・・・生命保険、損害保険 <http://www14.ocn.ne.jp/~esthoken>
- ◆(株)大成アフェクション・・・居宅介護支援、通所介護事業
- ◆(株)大成グローバルトレーディング・・・商社、貿易業務 <http://www.taisei-gt.co.jp>

■大成経営総合事務所

清永税理士事務所・飛石税理士事務所・徳留税理士事務所・浦野税理士事務所・高木社会保険労務士事務所・竹馬社会保険労務士事務所・社会保険労務士あきおか事務所・おかもと社会保険労務士事務所・いしはら社会保険労務士事務所・的場土地家屋調査士事務所・行政書士法人エド・ヴォン

(株)大成経営開発 統括室発行 Tel: 096-377-1101 Fax: 096-377-1114

会長室から、こんど~です



1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると言います。本当に1月はあっという間に過ぎてしまいました。2月はもともと日にちが少ないですが、今年は閏年で29日までありますので、1日得した気分ですね♪ 与えられた1日を大切にしないといけないなと実感している今日この頃です。今月もあっという間に過ぎると思いますが、頑張りましょうね！

インフルエンザが流行しつつありますが、大成グループではインフルエンザと診断された人は、出勤停止となっています。熱がないから大丈夫などとは言わせません。この時期はみんなが事務所で机に

向かう時間が長くなりますので、必ずうつります。

さて、今月は求人についてです。

新卒者の就職または転職について考えてみました。新しく社会人になる人は、会社の知名度、会社の規模、待遇<給与・賞与・休み>など、転職する人は前職になかったものを求めていくのだと考えます。入社する時、考えに考え抜いて選んだ会社でも、40%は辞めるそうです。それはどうしてかということ、やりがい、生きがいがないということです。それはお客様に喜んでいただけていないから、仕事をして認められないということになるのです。**仕事の中にこそ人生があり、仕事の中で人間的成長があると考える価値観を共有できる人が集まった企業は強いです！**

私たちの職場に置き換えて考えてみると、会計事務所は外から見れば朝9時から夕方6時まで、土曜・日曜・祭日はお休み、ボーナスは年3回あり、公務員に準ずるように思っている人もたくさんいると思います。でも実際は違います。会計事務所もサービス業であり、お客様にご指名いただいてこそその事務所、困った時は大成さんと言っていていただいてこそです。時間はあつてないようなもので、日曜であろうと夜であろうと仕事の時があります。給料は一人前になるまでは安いし、人間的に成長しないと、なかなか上がりません。時給単価にすれば、学生のバイトの時給よりも安いかもしれません。

さらには、税法の勉強、銀行の勉強など覚えなければいけないことが沢山あります。さらにさらに、社長は掃除・挨拶など、こまごまウルサイ！でも、他の仕事に比べたら、いろんな会社の社長さんとお話が出来、沢山のことを教えてもらえ、自由に仕事ができ、責任と権限があたえられており、他の職種では得られない人とのかわりの中で感動があります。

お客様の喜ぶことがしたいという価値観を持っている人と、私は一緒に仕事がしたいです！

旧暦でいうと2月は年の初めなので、五月市剛さんの「**ツキを呼ぶ魔法の言葉**」をご紹介します。いただきます。

嫌なことがあったら、「**ありがとう！**」

文字通り「難が有る」時に「有難う」と言いましょう。不幸は重なるもの。でも「ありがとう」ということで、その不幸の連鎖が断ち切れ、逆に「良いこと」が起こるのです。

良いことがあたら、「**感謝します！**」

感謝する対象は、なんでもかまいません。大切なのは、この言葉を口にする事「感謝します。」と言いにくければ、「ありがとうございます」でもOK!

いつも前向きに、「**ツイてる！**」

たとえ小さなことに対しても、これらを口癖にすれば、必ずツキはやってきます。なぜなら、**言葉は心を変え、習慣を変え、ツキを引き寄せるからです。**

この三つの言葉を毎日繰り返すといいそうです。

ありがとうございます。



(株)大成経営開発会長 近藤記

経営まめ知識：『捨てる経営』について



いま東京です！！今からミャンマーとベトナム出張です！！

最近思う事があります！！それは『捨てる経営』です！！

21世紀に入り早15年が、経ちました。すでに現れた未来という21世紀でしょうか？

何を捨てるのか？①成功体験という先進国の思考モデルを捨てる！！
②時間を捨てる！！③物を捨てる！！④情報を捨てる！！⑤最後は、常識を捨てるという事です！！

成功体験を捨てる

グローバル化の時代にあっては、これまでの先進国のスピードと思考モデルでは先進国や新興国でさえ成功体験が、通用しなくなったという事です。情報を基にした先見性と洞察力が、必要になったという事でしょうか？これは、ICT（情報通信機器）の影響が大きいと考えられます。

世の中の生産構造や流通構造が変わりライフスタイルが、秒針分歩で変わっているという事です。経営システムそのものも変わらざるをえないという事です。

時間を捨てる

時代のスピードは、速まるばかりです。これもICTの影響でしょう！！情報は世界中で氾濫してその量とスピードは、速くなるばかりです。

時間当たりの生産性を求めて経営を行う場合には、時間という経営資源が如何に有効活用されるかが勝敗を決めます！！経営資源を集中するという事になります。いい古された経営資源の選択と集中が、今以上に求められるという事です。

やる仕事とやらない仕事を決めるという事です。結果、時間を捨てるという事になります。

物を捨てる

持たない経営とでもいうのでしょうか？バブル崩壊後の固定資産を持たない経営とは、少し意味が違います。経営資源というお金を集中するために固定資産を持たないばかりか、固定資産や消耗品を含めてレンタル感覚で時間所有で物を買うという事です。モノを持たないばかりか必要でないものは、捨てるという事です。

情報を捨てる

経営は、現場ありきの実践です。実践を支配するのは、戦略です。戦略は、情報から生まれます。ところが情報は、秒針分歩です。世界中から如何に速く正確な情報を仕入れるか？日々情報を捨てる感覚がないと時代という一般方向を間違ってしまうという事です。情報を捨てるという捉われのないフラット感覚が、必要になったという事です。

常識を捨てる

この様な①から④の事を考えると常識を捨てるという事になるのでしょうか！！

そんな感覚で今から出張です。今年ももう1月が終わりました。

今年もみなさまの発展をお祈りします。

(東京事務所にて)



会議長ブログ：自由人石本の毘沙門天世界放浪記
毎日更新しています！是非読んでください！

💡 いまさら聞けない相続税の仕組シリーズ

「住宅取得控除と住宅ローン控除」

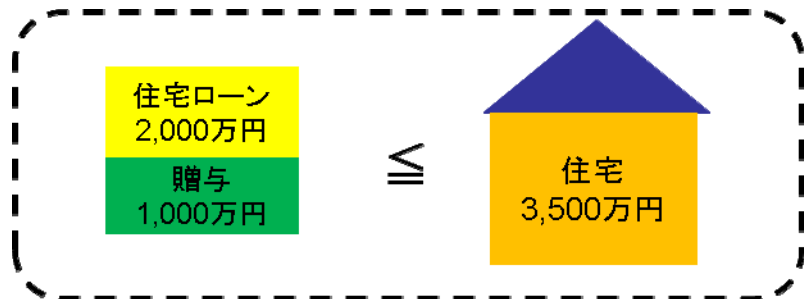
所得税の確定申告の時期になりました。
早めの申告をおススメします。

さて、今月は、住宅取得資金の贈与を受けた場合の住宅ローン控除のお話です。
ともに住宅を購入する場合の資金調達に関する優遇税制です。



【住宅取得資金の贈与+住宅ローン借入額 ≤ 住宅の購入額】

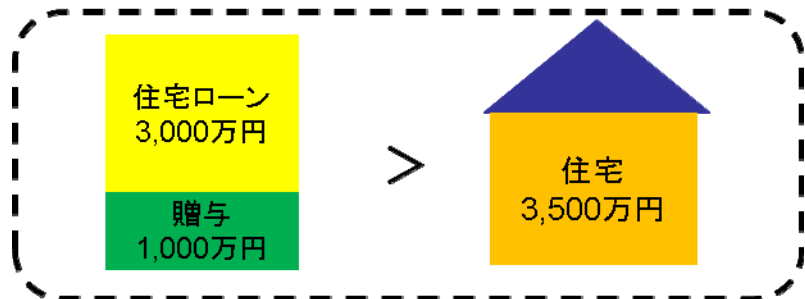
- ・住宅購入価額 3,500万円
- ・住宅ローン 2,000万円
- ・住宅資金贈与 1,000万円



住宅ローンと住宅資金贈与額を合わせても住宅購入価額と同額もしくは、少なかった場合は住宅ローンの全額が住宅ローン控除の対象となります。

【住宅取得資金の贈与+住宅ローン借入額 > 住宅の購入額】

- ・住宅購入価額 3,500万円
- ・住宅ローン 3,000万円
- ・住宅資金贈与 1,000万円



住宅ローンと住宅資金贈与を合わせた金額の方が、住宅購入価額より多かった場合には、超過した金額は、住宅ローン控除は出来ません。

上記の場合、超過した500万円については、居住用家屋を取得するローンと見なされません。

ちなみに、住宅取得資金の贈与と相続時精算課税制度と2つの贈与税の特例制度の適用を受ける事も出来ます。確定申告の事なら、なんでもお任せください。

 岡村泰



編集後記：あっという間に1月も終わり、2月になりました。いよいよ繁忙期へ突入です。インフルエンザの流行の兆しもあり、体調管理には十分気を付けねばなりません。油断は禁物、うがい、手洗い、マスク着用など対策を徹底して感染予防に努めます。皆様もお気を付けください。